

# ○学校経営の概要

## 1 地域・家庭について

本校は旧仙北町の南部を学区としている。学区内には国指定史跡「払田柵跡」と国指定名勝「旧池田氏庭園」の2つの文化財を有し古くから開発の進んだ地域であることがうかがえる。日本有数の穀倉地帯であり、農業は今も盛んであるが、誘致工場の進出、また、旧大曲市からの経済的な影響を受けるなど時代の変化や周辺事情の変化にともない兼業農家が多くなってきている。さらに近年は大曲地域のベッドタウン的役割も果たしていることから、若い世代の核家族世帯が増えてきている。

家庭的には両親共働きの家庭が多く、帰宅後は祖父母の世話になっている児童や「放課後児童クラブ『ひまわり』（平成25年度校地内に新築移転）」を利用する児童が増えている。

地域住民の学校教育への関心や協力は強固なものがある。例えば、平成16年度に結成された「子ども見守り隊」事業では、地域住民が隊員となり率先して児童の安全確保に努めている。PTA活動でも各専門部が積極的に活動して学校教育を支えている。また、地域学校協働本部事業により、地域の教育力を学校でも発揮してもらうことで子どもたちの学びが豊かになっている。

## 2 児童について

今年度の在籍児童数は、178名である。明るく活発で素直な児童が多く、朝から元気なあいさつをする様子が見られる。清掃などの当番活動や係活動、行事などでは、勤勉さを発揮して熱心に取り組む姿が多く見られる一方で、校外での活動や外に向けての発信という点では消極的な面も見られる。

## 3 学校経営の基本方針

**【学校教育目標】** 夢に向かって かがやく子ども  
～心をつなぎ、考えをつなぎ、明日の自分へつなぐ姿の実現～

**【児童に育てたい資質能力】** ○生きて働く知識・技能 ○問題解決を図る思考力・判断力・表現力  
○自己実現に向かうしなやかでたくましい心と体 ○多様な人々・ものごとに最善の関わりをする力

**【今年度の重点事項】**  一人一人に確かな学力を育む学習指導  
 進んで関わる力を育む授業実践  
 地域との協働を目指す教育活動

子どもたちには未来に向けて多くの可能性が開かれていなくてはならない。子どもはそれぞれの知識・思考力等の能力を存分に伸ばし、しなやかでたくましく立ち向かう資質を身に付け、多様な人々やものごとと関わり合う中で自己実現に向かうべきである。私たち教職員は子ども一人一人に確かな学力を身に付けさせ、同時に進んで人々やものごとに関わる実践力を身に付けさせ、自己実現に向かう後押しをしていかなければならない。そのために、保護者や地域と真摯に向き合い共に手を携えて教育活動を推進していかななくてはならない。

今年度、本校では、教職員の「聴く」の姿勢を大切にしていく。「児童の声を吸い上げ、主体的に学ぶ場をつくる。」「児童の話をよく聴き、気持ちや思いを共感的に受け止め、児童理解に生かす。」「保護者や住民の思いや願いを受け止め、指導に生かす。」「同僚のお互いの声に耳を傾ける。」この4つの姿勢を継続していく。明るく協働するチームとしての学校を実現し、家庭や地域から信頼され「この学校で学ばせてよかった」と思ってもらえる魅力的な学校経営に努める。